

か|か|み|が|は|ら 市議会だより

リニューアル
しました！

2019年2月15日発行

No. 173

3月 6月 9月 12月
平成30年12月定例会

議案概要

学校施設整備のため
基金を創設 P.2

一般質問

読書に親しめる
図書館の環境整備 P.6

一般質問

労働力としての
人手不足への対応 P.7

一般質問

乳幼児健診
待ち時間を短縮へ P.8

一般質問

空き家対策
現状と課題は P.9

一般質問

関係人口による
まちの活力づくり P.10



今号の表紙
平成最後の成人式

雲ひとつない晴天のもと、1月13日に市民会館で成人式が行われました。約1600人の新成人の今後の活躍に期待します。

市議会も、若い世代が夢と希望を持つことができるまちづくりを目指していきます。

代表・一般質問

14人が
市政を問う P.5~

瞑想の森に合葬式墓地を設置
(関連記事は2ページ)



平成 30 年 12 月定例会

議 案 概 要

定例会を 11 月 29 日から 12 月 21 日までの 23 日間開催し、平成 30 年度一般会計補正予算をはじめとする 29 案件を審議しました。

条例に関する議案

学校施設整備基金条例の制定

学校の建物や設備、建物以外の構造物などの外構の新築、改修、撤去などに必要となる資金へ充てるため、基金を設置するものです。

市営墓地条例の一部改正

合葬式墓地を、瞑想の森（市営墓地）内に新たに設置し、使用料などを定めるものです。
従来の区画墓地と異なり、継承の心配がなく、複数の方の遺骨を一つの墓に納めます。



合葬式墓地の完成イメージ

予算に関する議案

平成30年度一般会計補正予算

当面の行政需要に対応するため、歳入歳出予算などの補正を行うもので、歳出および歳入に関する主なものは次のとおりです。

歳出の主なもの

▼県議会議員選挙費

平成31年4月7日に執行が予定されている県議会議員選挙の準備などに必要となる経費を増額するものです。

1450万3千円

▼教育支援費

子どもの就学が経済的理由により困難と認められる保護者に対し、就学援助制度のさらなる周知などを行いました。

それにより、受給者の増加が見込まれたため、援助費などの経費を増額するものです。

1250万円

▼公園整備事業費

木曽川河岸の侵食・崩落により通行止めとなっている、総合

運動公園から各務原大橋交流広場区間のサイクリンググロウの復旧工事に関する経費を増額するものです。

2130万円

▼街路整備事業費

土地開発公社が所有する犬山東町線バイパス整備事業用地を市が取得するため、購入に必要な経費を増額するものです。

6779万9千円

歳入の主なもの

▼財産収入

土地開発公社から市が購入する犬山東町線バイパス整備事業用地を県に売却するため、売却により得る収入を増額するものです。

5588万3千円

その他の議案

財産の無償譲渡

保育所の民営化により、平成21年から認定こども園各務保育園（旧各務保育所）を運営している学校法人長屋学園に対し、安定的でより良質な保育ができるようにするため、園の建物などを無償で譲渡するものです。

委員会審査

議案などの29案件を分野別に4つの委員会に分け、詳しく審査を行いました。各委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

総務常任委員会

学校施設整備基金条例の制定

問 なぜ今、基金を設置する必要があるのか。

答 建設後60年を経過する学校施設もあり老朽化が進んでいることから、今後、建て替えなどを行う必要があり、多額の費用を要することが想定される。

また、学校施設は子どもたちの学習の場であるとともに、地域コミュニティの核となると考えるため、基金を設置する。

問 学校施設の整備方針が決まっていない段階で、積み立てを始める理由は。

答 今後40年間で必要となる公共建築物の維持更新費用の約半分が、学校施設に要する費用と見込んでいる。

多額の費用を要することは確かであり、少しでも早くから資金を確保していくためである。

問 基金の財源の構成はどのように考えているか。

答 繰越金と都市計画税の一部を積み立てていく。

問 都市計画税を積み立てることは問題ないのか。

答 法的に問題はなく、市民に十分な説明責任を果たしていけると考えている。

民生常任委員会

市営墓地条例の一部改正

問 合葬式墓地の使用料はいくらになるのか。

答 先進市の状況や合葬式墓地の経費などを見込み、納骨棚1区画につき8万円とする。

問 生前登録制度とはどのような内容か。

答 自分の死後、合葬式墓地で焼骨の埋蔵を希望する方が、生前に登録できる制度である。

問 募集についての案内方法と申し込みの開始時期は。

答 広報紙や市ウェブサイトなどで案内を行い、平成31年10月1日から申し込みを受け付ける。

財産の無償譲渡（認定こども園各務保育園）

問 建物などを無償譲渡する際の条件は。

答 施設を保育以外に使用しないことや、建物に不具合があった場合、市が担保責任を負わないことが条件である。

経済教育常任委員会

平成30年度一般会計補正予算（所管分）

問 就学援助制度をどのように周知したのか。

答 ①各小中学校が毎月発行する学校だより案内を

掲載、②児童扶養手当の受給者が現況届を提出する際に案内文書を配付、③特別支援教育就学奨励費の受給者へ案内文書を郵送など、周知を一層徹底した。

建設水道常任委員会

平成30年度一般会計補正予算（所管分）

問 市は、土地開発公社が所有する犬山東町線パイプ整備事業用地を購入し、県に売却するが、購入費が売却額より1200万円ほど高い理由は。

答 購入費には、公社が用地を先行取得した際の価格に加え利息や手数料のほか、事業用地以外の土地（残地）の取得費用も含まれている。

一方、県に対する売却額は、現時点での価格であるほか、残地は県への売却の対象ではないことから、結果としてこのような差額が生じる。

問 県へ売却しない残地の活用予定は。

答 隣地の方への売却や代替地の一部とする予定である。

審議の結果

平成 30 年 12 月定例会

議案等の審議の結果は以下のとおりです。

賛成全員…◎ 賛成多数…○ 賛成少数…△

議案等の種類	案 件 名	審議の結果	採決の状況
予 算	平成 30 年度一般会計補正予算 (第 4 号)	可決	○
	// (第 5 号)	可決	○
	平成 30 年度介護保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	可決	◎
	平成 30 年度下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)	可決	◎
	// (第 3 号)	可決	◎
条 例	学校施設整備基金条例	可決	○
	国際交流振興基金条例を廃止する条例	可決	◎
	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
	市営墓地条例の一部を改正する条例	可決	◎
	地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
	常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○
	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
契 約	工事請負契約の締結 (市民会館空調設備改修工事)	同意	◎
	// (市民会館舞台照明設備改修工事)	同意	◎
	工事委託協定の変更 (高山本線長森・那加間 5k623m 付近濃川踏切道拡幅工事委託)	同意	◎
その他	財産の無償譲渡 (認定こども園各務保育園 (旧各務保育所))	可決	○
	公の施設の指定管理者の指定 (那加福祉センターほか 13 施設)	可決	◎
	// (福祉の里)	可決	◎
	// (高齢者生きがいセンター稲田園)	可決	◎
	// (高齢者生きがいセンター川島園)	可決	◎
	// (商工振興センターほか 3 施設)	可決	◎
	// (指定文化財皆楽座)	可決	◎
	// (総合体育館ほか 17 施設)	可決	◎
	// (各務原リバーサイド 21)	可決	◎
	市道路線の認定 (市道鵜 1402 号線ほか 2 路線)	可決	◎
	// (市道那 1132 号線)	可決	◎
	市道路線の廃止及び認定 (市道鵜 1081 号線ほか 3 路線)	可決	◎
請 願	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	△
	所得税法第 56 条の廃止を求める意見書採択を求める請願	不採択	△

代|表|質|問

代表質問とは、所属議員3人以上の会派がそれぞれの政策・主張に基づき市政に関して質問するものです。今定例会では、政和クラブの足立孝夫議員と市議会公明党の横山富士雄議員が、会派を代表して質問を行いました。その一部を紹介します。

10年先、20年先の本市の状況とその方針

政和クラブ

問 10年先、20年先の本市の人口の推移はどうか。

答 平成27年の国勢調査においては、14万4690人であり、今からおよそ10年後の2030年には約13万4700人、2040年には約12万4600人と推計されている。

問 人口減少が進むと市街地の空洞化や、市街化調整区域の過疎化が進むと思われるが、これにどう対処する考えか。

答 地域社会を支える担い手や若年層の減少は、地域コミュニティの維持や日々の生活にも少なからず影響を及ぼすものと認識している。

それぞれの地域の複雑多様な課題を理解するとともに、必要不可欠な施策を計画的に実行し、解決していく。

問 学校施設をはじめとする公共施設の老朽化にどう対処する考えか。

答 今後の長期的管理方針を定めるため、平成29年3月に「各務原市公共施設等総合管理計画」を策定した。

時代に即した役割や機能となるよう、施設の複合化、多機能化などを検討し、施設総量の抑制を図っていく。

特に小中学校については、児童生徒数の減少を見据えた適正規模・適正配置の検討に着手するとともに、将来の大規模改修などに備え、学校施設整備基金を設置する条例を定めることとした。

今後は、平成32年度までに施設類型ごとの個別施設計画を策定し、将来にわたって健全な都市経営を維持していけるよう、着実に老朽化対策を進めていく。

総合計画の成果と今後に向けて

市議会公明党

問 平成27年度にスタートした「各務原市総合計画」は、市が目指す将来都市像をまとめたもので、前期・後期各5年の基本計画などにより構成されているが、前期基本計画の取り組みを振り返るに当たって、その成果を判断する基準は何か。

答 事業の達成状況を測るため位置付けた「事業の達成指標」は、主観的指標と客観的指標から構成され、その達成状況や推移は成果を判断する基準となる。

一方で、数値で表せないものとして市民との「対話」における生の声が挙げられる。

本格的な人口減少と高齢化を迎える中、持続可能な行政サービスを提供するため、社会情勢の変化と課題を整理するとともに、国・県の動向を注視し、取り組むべき対応策の検討が必要である。

問 平成32年度からスタートする後期基本計画の策定を進めるに当たって、社会情勢の変化をどのように捉えているか。

答 多岐に渡るが、例えばライフスタイルの多様化、地域コミュニティの実情、AIやロボットなどの技術革新、地方創生の推進などが挙げられる。

こうした変化は、長い時間をかけて進行するものや急激に変化するものなど、さまざまである。

喫緊の課題に対してはスピード感を持つと同時に、長期的な視点を併せ持つてまちづくりを進めていく必要がある。

さまざまな観点でこれまでの成果や課題を振り返り、社会情勢の変化を的確に捉えながら、後期基本計画の策定に当たっていく。

一般質問

12月定例会で一般質問をした議員（質問順）

坂澤博光／津田忠孝／古川明美／永治明子／大竹大輔／岩田紀正／指宿真弓／
小島博彦／波多野こうめ／杉山元則／黒田昌弘／五十川玲子

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを、各議員が市に
対して質問しました。その一部を紹介します。

読書に親しみやすい図書館に

10代の若者の利用を促進

問 10代の若者と本とを結び
工夫は。

答 中央図書館では、若者に
人気のある本を集めたテ
ィーンズコーナーを設置したほ
か、自分が面白いと思った本を
紹介し合い、最も読みたくなっ
た本に投票するビブリオバトル
を開催している。

問 今年度の新たな取り組み
とその成果は。

答 夏休みに小学校高学年と
中学生を対象に、図書館
の仕事体験しながら、本の面
白さや素晴らしさを友達や家族
に伝える「ジュニア司書養成講
座」を開催した。

講座修了者にオリジナルエプ
ロンをプレゼントしたところ、



オリジナルエプロンを着たジュニア司書

講座終了後もエプロンを持って
手伝いに来てくれる子もいる。
こうした取り組みを継続する
ことで、若者の利用が少しでも
広がることを期待している。

地域の文化芸術の推進

問 乳幼児や児童生徒が文化
芸術に親しむための環境
整備はされているか。

答 幼稚園や保育所では、劇
団による人形劇やバイオ
リン演奏などの鑑賞を行って
いる。

小中学校では、合唱の発表会
や作品展示会のほか、音楽や演
劇、伝統文化などの鑑賞・体験
を行うなど、文化的行事を適切
に行っている。

問 文化会館が人と文化の交
流拠点となるような、市
民参加型の企画を行う考えは。

答 県内トップの吹奏楽団と
協力し、吹奏楽に関わる
中高生とともに、練習から本番
の演奏まで作り上げる演奏会を
開催するなど、市民参加型に重
点を置いた事業を行っている。

さらに、市民団体などが主体
的に企画・運営する演奏会や舞

台芸能などを、企画者と指定管
理者が協働で作り上げる「市民
チャレンジ応援企画事業」の実
施に向け準備を進めている。

生活困窮者への 自立支援

問 どのような支援が必要だ
と考えるか。

答 就労や自立につなげるた
めには、関係機関が協力、
連携し、生活困窮者に寄り添い
ながら、継続して日常生活や就
労の支援を行う必要があると考
える。

問 自立に向けた具体的な支
援の内容は。

答 各種相談対応のほか、生
活習慣に関する助言や履
歴書作成に関する指導、求職活
動を行うための公共職業安定所
への同行支援などを行っている。

また、協力企業が実施する職
業訓練を活用し、生活困窮者の
早期社会参加に取り組んでいる。

労働力としての人手不足への対応は

高齢者の能力や経験を活用

問 本市の職業別有効求人倍率の状況は。

答 平成30年10月の有効求人倍率は、2・44倍という高い水準である。

職業別にみると、飲食や介護福祉などのサービス職業が7・42倍、金属加工、製造など生産工程の職業が3・69倍、輸送・機械運転の職業が4・77倍となっている。

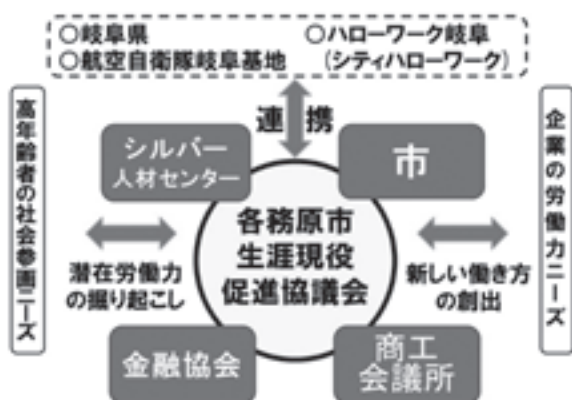
問 人手不足に対する本市の対応は。

答 介護関連の有効求人倍率は、ここ1年で1ポイント近く上昇するなど、人手不足の状況が深刻化しつつある。

そのため、市の主要産業である製造業を中心とした人材確保に加えて、福祉に関連する人材確保に取り組んでいく。

問 高齢者(55歳以上の方)の雇用対策についての本市の考えは。

答 商工会議所やシルバー人材センター、金融協会など連携し、新たに「各務原市



生涯現役促進協議会」を設立することで、高齢者が培ってきた能力や経験を生かしながら地域とつながり、活力ある社会を実現していく。

問 生涯現役促進協議会の取り組み内容は。

答 企業・事業者と潜在的な労働者の双方に向けた取り組みを予定しており、働くことを通じて、年齢に関わりなく活躍し続けられる生涯現役社会の実現に寄与していく。

小中学生の情報モラル育成

問 どのような指導をしているのか。

答 教職員や児童生徒、保護者に向け、情報社会におけるモラル教育を実施している。

例えば、国の「インターネット安全教室」や「e-ネットキャラバン」を活用し、ネット依存、ネットいじめ、ネット詐欺などのトラブル事例を用いた、予防と対応策についての講座を行っている。

このような活動により、保護者の理解を深め、児童生徒が状況に応じ自ら考え、判断できる力を身に付けられるよう指導している。

問 家庭での情報モラル教育をどう支援するのか。

答 情報モラルは多くの保護者が重要な問題と捉えており、PTAや子育て広場などで積極的に研修会や講座が行われている。

今後も家庭と学校が協力し、親子が一緒に学べる取り組みを行うなど、情報モラルの研修を充実させていく。

通学時の持ち物の重さへの配慮

問 児童生徒の通学時の持ち物が重くなりすぎないような配慮は。

答 今年度、児童生徒の持ち物について適切な配慮を講じるよう、全ての学校に依頼をしたところ、家庭で使わない教科書は学校に置いておく、絵の具セットなどは学校で保管するなどの配慮がなされた。

これにより、以前と比べて負担は軽減されたと考えているが、今後も持ち物のあり方について検討していく。



ランドセルを背負って通学する児童

乳幼児健診の待ち時間を短縮へ

インターネット予約システムを導入

問 現在の乳幼児健診の待ち時間を含めた受診時間は、

答 健診会場の一つである総合福祉会館における一人

当たりの平均受診時間は、年齢でも異なるが、おおむね2時間半前後となっている。

問 待ち時間を短縮する取り組みは。

答 現在は、受付開始30分前から番号札を渡しており、早い番号を取るために多くの方が長時間待っている状況である。



スマホから簡単に健診予約が可能

そこで、保護者や子どもの負担を軽減するため、インターネットから健診の予約を行うことができるシステムを新たに導入するとともに、会場内に端末を設置し、健診当日にこの端末からでも予約ができるようにする。

これにより、待ち時間を30分以上短縮できると考える。

このシステムは、試行・検証の後、全ての乳幼児健診で運用を開始する予定である。

問 新生児聴覚スクリーニング検査の実施費用を助成してはどうか。

答 聴覚障害を早期に発見し、適切な治療や支援を行うことで、音声言語発達などへの影響を最小限に抑えられることから、国では、新生児の聴覚スクリーニング検査の実施を推奨している。

本市においても、医師会と検査の実施体制に関する協議を進めており、費用の助成についても、実施に向け支払方法などを調整していく。

高齢者のフレイル予防

問 フレイル（健康な状態と要介護状態の中間の状態）の予防に向けた取り組みは。

答 今年度から介護予防教室で認知症機能検査などを行っており、来年度には簡易運動機能検査も追加する。

その効果を検証し、本市独自のフレイルチェックを行っていく予定である。

問 地域住民が主体となる取り組みは。

答 来年度には、地域住民や介護事業者、理学療法士



体を動かしたり他者と交流してフレイルを予防

などで構成される「(仮称)フレイルチェック検討委員会」を立ち上げ、さまざまな意見を取り入れながら、チェック項目や地域への展開などを検討する。

改葬と墓じまい

問 改葬（別の墓への移動）や墓じまい（墓を片付けて更地にすること）に関する相談状況は。

答 年間おおむね10件程度である。

問 市営墓地の墓を返還する手続き方法は。

答 ①市に改葬許可申請を行う、②墓に納められた遺骨を別の墓などに移動させる、③墓石などを撤去し、使用区画を更地にする、④返還届を市に提出するという流れである。

問 自治会や墓地管理組合などが管理する墓地での、改葬や墓じまいへの対応は。

答 民間墓地は管理者もさまざま、地域の歴史や風習に基づく個々のルールで管理運用されているため、事例に合わせたアドバイスを行っていく。

空き家対策の現状と課題は

所有者への周知を強化

問 空き家所有者から受けた相談の件数と内容は。

答 今年度は11月末現在で31件の相談があり、主な内容としては、処分の仕方が分からない、遠方に住んでおり管理ができない、相続の手続きが進まないなどであった。

問 適正な空き家管理のための効果的な対策は。

答 管理が適正に行われていない空き家の発生を未然に防止することが重要である。



空き家の借り主が自らの手で改修

そのため、空き家の管理や処

分に関する相談会やセミナーの周知を図るほか、空き家の適正管理に関する出前講座の実施やチラシの回覧、広報紙に特集記事の掲載を計画している。

問 イオンモール各務原に開設した移住定住総合窓口

かかみがはらオープンクラス（KOC）では、移住相談者に「DIY型空き家リノベーション事業」の案内も行っているが、空き家所有者も同事業について相談できるようにしているのか。

答 KOCでの移住相談者の4分の1の方が同事業の活用を希望するなど、移住定住の重要な事業となっている。

今後は、同事業で活用できる空き家の掘りおこしを行うとともに、KOCを情報発信拠点として、空き家所有者に向けた相談会などを検討している。

問 空き家を市内外の企業に活用してもらう考えは。

答 周辺住民の生活に対する影響や地域性などの課題

もあるが、これまでにないビジネスモデルを持つ企業や地域に密着したユニークな取り組みを行う企業を呼び込むきっかけとして、前向きに検討していく。

街路樹の倒木対策

問 台風21号により、倒木や枝折れなどの被害があったが、これまでの街路樹の倒木対策を見直してはどうか。

答 街路樹の倒木対策として、透かし剪定を行っており、その際、樹木医や造園業者により、街路樹の健全状態を点検し



枝の密度を減らし風通しを良くする透かし剪定

ている。

台風21号の倒木被害の大半は、民有地や山林などであったことから、この取り組みの効果が表れているものと考えている。

今後も剪定と点検を行いながら、倒木被害の防止に努めていく。

各務山地区基本構想

問 各務山西端を南北に縦断する市道各378号線の完成時期と総事業費は。

答 平成35年度に完成予定で、総事業費は約6億9千万円を見込んでいる。

問 通学児童などの歩行者への安全対策は。

答 市道の両側に歩道を整備し、さらにガードパイプなどの安全施設を設置する計画としている。

問 おがせ街道との交差点や、スポーツ広場南側を通る市道との交差点に、信号機や横断歩道などを設置する考えは。

答 公安委員会との協議が必要であるが、設置する方向で考えている。

関係人口によるまちの活力づくり

広く魅力を発信するイベントを実施

問 関係人口（観光にきた交流人口や、移住した定住人口ではなく、地域と多様に関わる人々）を創出するための取り組みは。

答 地域に貢献したいと考える「まち想いの方」を関係人口と捉え、積極的にまちと関わってもらえるような入り口づくりを行っている。

その入り口となる、マーケット日和や夏フェスといったイベントは、単に遊びに来るだけで



約4万人が訪れたマーケット日和 2018

はなく、企画や運営に関わることでできる工夫もしており、市内外の若者と価値を共に創り出すものとなっている。

問 どのような成果があったのか。

答 入り口をきっかけに、まちの魅力に気づき、共感してもらい、自発的に発信するサイクルが広がっており、その中には移住定住につながったケースもある。

平成30年9月には、関係人口の考え方に関するイベントを、かかみがはらオープンクラスで開催したところ、定員を大幅に超える66人の参加があった。

問 都内向けのプロモーションを展開してはどうか。

答 今年度は、東京都千代田区有楽町の「ふるさと回帰支援センター」において、本市のライフスタイルを伝えるセミナーを開催した。

今後、都内で地域の情報を発信できる空間を活用し、イベントなどの可能性を探っていく。

ドローンの積極的活用

問 ドローンが有効と考えられる業務は何か。

答 これまで市のプロモーション動画作成のため空中撮影を行ったほか、岐阜大学と連携して橋の点検に活用した。

また、県内では有害鳥獣の駆除や森林管理、災害調査などの活用事例がある。

研究開発の進展により、活用が見込める分野は拡大するものと考えられる。

問 今後、積極的に活用していく考えは。



各務原大橋の点検でドローンを活用

答 これまでの実績に加え、橋以外のインフラや建築物の点検、災害対応への活用も期待している。

今後、活用できる分野が広がり使いやすくなる一方で、落下事故を防ぐための技術の向上やプライバシー対策、法整備などの課題もあるが、先進事例を注視し、業務を効率的・効果的に行うツールとして活用を検討していく。

地域貢献ガイドライン

問 地域貢献に関するガイドラインを作成する考えは。

答 地域貢献活動は、多様な個人や団体が、それぞれの価値観で行うもので、ガイドラインの必要性は慎重に検討する必要がある。

しかし、地道に活動が続いている方々の活動を紹介していくことは、活動の活性化につながると考えている。

これまでも広報紙などで伝えてきたが、さらに効果的な広報手段などについて、調査・研究を行っていく。

調査の報告

今後の市政に反映させていくため、委員会ごとに全国の先進事例を調査しています。

市議会だより編集委員会

本市の市議会だよりを、より多くの方に読んでいただける紙面に刷新するために、すでにリニューアルを実施し、魅力的な紙面を作成している千葉県香取市を視察した。

同市の市議会だよりは、文字が大きく、余白を効果的に使っているとともに、分かりやすい言葉選びがされており、読みやすいものとなっている。

本市でもそれらを参考にし、見やすさ・読みやすさという部分で、特に余白を意識的につくることに心掛けたいと感じた。

そのほか、手に取りたくなる表紙・裏表紙のデザインや掲載写真の撮影方法について、多数の議会だよりの編集を手掛ける株式会社社会記録センターにおいて、実習形式の研修を行った。

議会運営委員会

議員活動・議会活動の充実、また会議資料の電子化によるコスト削減などを目的に、平成27年4月からタブレット端末を導入している広島県東広島市を視察した。

同市は、議会運営委員会において先進地視察などを行いながら、タブレット端末の導入について議論を行ってきた。

導入すること、平成27年4月からの4年間に、全体で450万円もの費用削減効果があると試算しており、タブレット端末の導入を検討する上で参考となった。

そのほか、議会改革として、本会議や委員会で議員間の自由討議を実施して合意形成に努めている山口県山陽小野田市を視察した。

調査視察 状況 （平成30年）

本市の特色ある施策について全国の地方議会から視察調査にお越しいただきました。視察事項と団体名は次のとおりです。

シティプロモーション推進事業

- ▼青森県平内町▼秋田県大館市
- ▼神奈川県大和市▼富山県東部
- ▼滋賀県彦根市
- ▼大分県大分市▼宮崎県日向市

DIY型空き家 リノベーション事業

- ▼新潟県燕市▼東京都三鷹市
- ▼栃木県小山市▼岡山県香川
- ▼坂出市

岐卓かかみがはら 航空宇宙博物館運営事業

- ▼東京都福生市▼岐阜県不破郡
- ▼町村議長会▼山口県岩国市

その他の事業

- ▼石川県加賀市▼千葉県柏市
- （基地対策）
- ▼宮城県塩竈市（中山道鵜沼宿）
- ▼静岡県三島市
- （部活動外部講師）
- ▼岐阜県瑞穂市（議会運営）
- ▼群馬県太田市
- （市営斎場建設事業）
- ▼東京都東村山市
- （新那加駅周辺地区バリアフリー基本構想）
- ▼宮城県石巻市（行財政改革）
- ▼東京都福生市
- （かかみがはら寺子屋事業2・0）



市民の声

こんな街が いいな！



クラブ活動が 活発な街

富田昭夫さん（蘇原緑町）

18年前に、奈良から見知らぬ各務原市に引っ越してきて、まず、飛行機に驚きました。

住むにつれ、大変活気があり、文化施設やスポーツクラブが多く、定年退職者にとって住みやすく学びやすい良い街だなと思っています。

日頃は、テニスや語学講座、中部学院大のシティカレッジなどに参加しています。

活気ある街を維持するためにも、また高齢者が老いを忘れて学べるクラブの存続のためにも、若く新しい人々が住みつきやすく、若者人口が減らない街を要望いたします。



景勝地に感謝

安藤嘉章さん（鵜沼南町）

愛知県から引っ越してすぐ、自治会・各種団体の活動に参加させていただき、今年自治会長を務め、あっという間に6年が経ちました。

この間に、各務原市は飛鳥時代や戦国時代には日本の歴史を大きく転換させた要衝の地であったことを知りました。

誇り高きこの地で暮らせることに、身が引き締まる思いです。

美しい山河、飛鳥の古墳群、多くの城址に囲まれた歴史ある地に暮らせることに、改めて感謝したいです。



住みやすい街

村瀬美帆さん（那加桐野町）

私は、各務原市役所のインターンシップで議会事務局の業務を体験しました。

市議会議員の方にお話を聞く機会があり、仕事内容や、やりがい、議員を志したきっかけなどをお聞きする中で、各務原市をより良い街にしたいという思いを知りました。

各務原市は多くの公園や音楽フェスなどのイベントもあり、暮らしやすい街ですが、さらに若い人たちが増えたり、東西だけでなく南北の交通が整備されたりすると、もっと活気あふれる街になると思います。

編集委員会よりひとこと

今号はこれまでの紙面から刷新しました。新しい紙面はいかがでしたか。市議会は何をしているのか分からない、難しそう、市民の皆さんはそんな印象を持たれていると思います。市議会が身近な存在になるよう、これからも「読みやすく、分かりやすく、親しみやすい」紙面作りを心掛けますのでご期待ください。

市議会だより編集委員会

｜委員長｜津田忠孝 ｜副委員長｜水野岳男
｜委員｜古川明美 塚原甫 小島博彦 指宿真弓

議会を傍聴 してみませんか？

どなたでも気軽に傍聴することができます。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

また、市議会のウェブサイトからは本会議の生中継・録画映像をご覧いただけます。

次回定例会の予定

2月25日(月)	開会
3月11日(月)～12日(火)	質疑、代表・一般質問
3月15日(金)～20日(水)	常任委員会
3月26日(火)	閉会

市議会の詳しい情報は各務原市公式ウェブサイトからご覧ください。

各務原市議会

検索



かかみがはら
市議会だより

｜発行｜各務原市議会 岐阜県各務原市那加桜町 1-69
｜電話｜058-383-2001 ｜編集｜市議会だより編集委員会

環境保護のため、
植物インキを
使用しています。

